

## 令和4年度 総合的な探究の時間 「J-time」 シラバス

単位数	1単位	学科・学年・学級	普通科 1年 1～6組
教科書	指定なし	副教材等	指定なし

### 1 学習の到達目標

<p>集団の一員としての自覚と国際的な視野を持ち、横断的・双方向的な自己の未来を創造する学習を行うことを通して、真、善、美を求めて止まない心豊かな自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を主体的に発見し解決し、たくましく社会を生き抜ける、自他ともに愛する民主的な人間かつ社会に貢献する人間になるための以下の資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 探究の過程において、主体的に自己の未来の創造と関連する課題の発見と解決に必要な自己実現のための知識及び技能を身に付け、平和的・文化的な国家及び社会に関わる概念を形成し、社会貢献の意義や価値を理解する。</p> <p>(2) 国際的な視野を持って実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自己の未来の創造と関連する課題を立て、主体的に情報を集め、収集した情報や自分自身を整理・分析して、自分自身や自己の意思を言語化して表現し、自己実現のための行動を起こす力を身に付ける。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、集団の一員としての自覚と基本的人権を尊重する平和的・文化的な国家及び社会を実現しようとする態度と真、善、美を求めて止まない心豊かな人間性を育てる。</p>
--

### 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1 学期	4	自己理解	・「中学校と高校の違い」について学び、より主体的な行動が求められることに気付かせる。	・“中学校と高校の違い”ワークシート
		自己理解	・自身のこれまでの経験や興味関心を振り返り、興味がある職業や興味がある学問(理系、文系、分理系)を分析し自己理解を深める。	・“自己興味分析”ワークシート
		自己実現	・文化祭と関連して、準備から当日の発表まで、クラスの一員として最大限自身ができる貢献を考え、目標達成に向けて活動する。	・“文化祭”の準備から当日での行動観察
	5	自己理解	・興味がある職業や興味がある進路についてより深く調べ、いまの自分に必要なことは何かを考えて、「3年間の行動計画書」を作成する。	・3年間の行動計画書
		自己理解	・実力テストを振り返り、自己実現に向けた自身の課題解決を行うため、「授業の受ける態度」・「ノートの取り方」・「家庭学習の状況」・「隙間時間の活用法や勉強方法の工夫」等を共有し、自身の反省をするとともに、他者からより良いものを学び取る。	・“実力テスト振り返り”ワークシート ・“学習改善”ワークシート
		自己実現	・卒業生や民間企業の方を迎えて、進路先や高校での学習すべきことについての講演を聞き、感じたことをワークシートに記録を蓄積しておく。	・“講演聴講”ワークシート
	6	自己理解	・第1学期中間考査を振り返り、自己実現に向けた自身の課題解決を行うため、「授業の受ける態度」・「ノートの取り方」・「家庭学習の状況」・「隙間時間の活用法や勉強方法の工夫」等を共有し、自身の反省をするとともに、他者からより良いものを学び取る。	・“定期考査振り返り”ワークシート ・“学習改善”ワークシート
	自己理解・自己実現	・自身のこれまでの経験や興味関心を振り返り、興味がある職業や興味がある学問(理系、文系、分理系)を分析し、2年次の科目選択と関連させて、自己理解を深める。	・“自己興味分析”ワークシート ・“科目選択希望”ワークシート	
	自己実現	・卒業生や民間企業の方を迎えて、進路先や高校での学習すべきことについての講演を聞き、感じたことをワークシートに記録を蓄積しておく。	・“講演聴講”ワークシート	
	7	自己理解	・「3年間の行動計画書」の『1年次1学期』を振り返り、行動計画の改善、再検討を図る。	・3年間の行動計画書
学期	月	単元名	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2 学期	9	自己実現	・卒業生や民間企業の方を迎えて、進路先や高校での学習すべきことについての講演を聞き、感じたことをワークシートに記録を蓄積しておく。	・“講演聴講”ワークシート
		自己実現	・「道徳」を学ぶ時間の学習と関連して、自己の未来の創造のため自身の行動が他人や社会に貢献できるとともに、自己の成長に繋がることに気付かせる。	・“道徳”を学ぶ時間の学習”のワークシート
		自己実現	・校外学習で、班員とともに行動計画を立て集団の一員としての行動を取るとともに、文化的な建物・自然・体験や実社会に触れることで、見聞を広げ、学んだことをレポートやポスター等にまとめる。	・校外学習計画書 ・校外学習後の制作物(ポスター、レポート)
	10	自己理解	・第2学期中間考査を振り返り、自己実現に向けた自身の課題解決を行うため、「授業の受ける態度」・「ノートの取り方」・「家庭学習の状況」・「隙間時間の活用法や勉強方法の工夫」等を共有し、自身の反省をするとともに、他者からより良いものを学び取る。	・“定期考査振り返り”ワークシート ・“学習改善”ワークシート
		自己理解・自己実現	・自身のこれまでの経験や興味関心を振り返り、興味がある職業や興味がある学問(理系、文系、分理系)を分析し、2年次の科目選択と関連させて、自己理解を深める。	・“自己興味分析”ワークシート ・“科目選択希望”ワークシート
		自己実現	・卒業生や民間企業の方を迎えて、進路先や高校での学習すべきことについての講演を聞き、感じたことをワークシートに記録を蓄積しておく。	・“講演聴講”ワークシート
	11	自己実現	・「道徳」を学ぶ時間の学習と関連して、自己の未来の創造のため自身の行動が他人や社会に貢献できるとともに、自己の成長に繋がることに気付かせる。	・“道徳”を学ぶ時間の学習”のワークシート
	自己理解	・「3年間の行動計画書」の『1年次2学期』を振り返り、行動計画の改善、再検討を図る。	・3年間の行動計画書	
	自己研鑽	・SDGsについて学び、国際的な視野から問いを発見し、多面的・多角的に試行して自己の未来の創造と関連させ、班別に17の目標について考察したり、興味がある職業と関連したSDGsを達成するための諸活動を調査する。	・“SDGs学習”ワークシート ・“SDGs学習”の行動観察	

学期	月	単元名	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	自己研鑽	・SDGsについて学び、国際的な視野から問いを発見し、多面的・多角的に試行して自己の未来の創造と関連させ、班別に17の目標について考察したり、興味がある職業と関連したSDGsを達成するための諸活動を調査したりして、自らの考えをプレゼンテーション形式で発表する。	・“SDGs学習”ワークシート ・プレゼンテーション発表 ・発表資料 ・“SDGs学習”の行動観察
	2	自己実現 自己研鑽	・卒業生や民間企業の方を迎えて、進路先や高校での学習すべきことについての講演を聞き、感じたことをワークシートに記録を蓄積しておく。 ・一般常識やことわざ、新聞社説の要約、小論文の作成を行うことを通して、教養を身に付けることの重要性に気が付くとともに、言語表現力を身に付ける。	・“講演聴講”ワークシート ・一般常識挑戦問題 ・新聞社説要約 ・小論文
	3	自己理解	・「3年間の行動計画書」の『1年次年間』を振り返り、行動計画の改善、再検討を図る。	・3年間の行動計画書

### 3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の未来の創造のため自身の行動が他人や社会に貢献できること、それらは自己の成長とともに見いだすことができることに気付いている。</li> <li>収集した情報から自己実現に必要な知識や技能を理解している。</li> <li>自己の利益にのみに目を向けないように、平和的・文化的な国家や社会の概念を理解している。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際的な視野を持って実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自己の未来の創造と関連する課題を設定している。</li> <li>自己実現のため、複数の方法で必要な情報を集め、収集した情報を蓄積・整理・分析している。</li> <li>自分自身や自己の意思を言語化して表現でき、自己実現のための行動を起こしている。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の未来の創造のための活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造しようとしている。</li> <li>自分が集団の一員であると自覚し、将来基本的人権を尊重する平和的・文化的な国家及び社会の実現に貢献しようとしている。</li> <li>課題に関して、自己の内面やその課題解決に向けた活動を振り返り、改善を重ねて真、善、美を追い求めている。</li> </ul>

### 4 評価の方法

ワークシートや発表等の活動の成果のみに限らず、班員との関わり合いや活動における個人の貢献等の活動の経過状況や過程を含めて、「知識・理解」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の観点別に評価する。評定を算出する評価は行わず、担当者の所見による評価を行う。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

千葉県立袖ヶ浦高等学校では、総合的な探究の時間を『J-time』と呼んでいます。『J-time』の“J”は、「自主」・「自律」・「実践」を表しており、自ら学び、自分を律して、あらゆることに挑戦する時間として位置付けています。教科や科目にこだわらず、自分の中にある知識・技能を生かして、多様な面から思考し、判断し、表現することが求められています。また、学びを一方的に受けるのではなく、自分自身が当事者となって学びに向かうことが重要な時間です。自分自身や社会の様々なことについて「探究」してください。